

憧憬の故郷

(昭和五十年竊歌)

佐藤守君 作歌
関川哲夫君 作曲

一

「汝が故郷は何処にありや」
あつちしお 熱き血潮に身は溢れども
のぞみ 希望を胸に行方も知れず
かぜ 朔風に身を寄せ漂泊い出でん

二

聳ゆるボプラは何をか象徴し
はる 遙かな大地は何語らん
びようぼう 渺茫の地に理想を秘めて
しんし 真摯の道を歩みゆかん

三

逍遙の詩静寂に透り
の 曠野を一人ゆく吾侪めば
にちりんしずか 日輪幽寂に手稲の端にて
しゆ 朱に染まらん哉原始の森は

四

嗚呼寮友よ夕の瞑想
み 己身に嘆けども憂愁はやまず
しろがね 白銀の季節寮舎に在りて
あつ 熱き心を語り明かせよ

五

光幽けき憧憬の故郷
かすみしず 霞静かに流れ渡りて
しんりよく 新緑にみる自然の黙示
きた 北溟の大地は我が故郷か